

【Ⅱコリント人への手紙 12章】

「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現われるからである。」

(Ⅱコリント12:9)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.7.1 No.690

今年のみ言葉 歴代誌Ⅱ 20:22

我らが喜びの声、賛美の声をあげ始めたとき、
主は伏兵を設けて～彼らは打ち負かされた。

あなたも私も感謝の戦士
賛美隊の欠けてはならない一員です♪



台湾 台南在住の日本人の集まり

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfrh/>

私達が毎週行なっているライブのグループ名は“パラダイス”です。これは楽園(第3の天)を意味するペルシャ語(イランを中心とする中東の言葉)です。

パウロはこの章で、第3の天、パラダイスにまで行った体験があることを書いています。これは普通の人のできない誇るべき体験ですが、この啓示があまりに素晴らしかったので、高ぶることがないように、肉体に一つのトゲを与えられました。てんかんとか眼病、マラリアとか言われています。あれほど癒しの為に用いられたパウロですから、自分の病いの癒しのためにも祈りましたが、主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。」と言われました。リビングバイブルにはこのように書いてあります。「いや、癒すまい。しかし、私はあなたと共にいる。それで十分ではないか。私の力は弱い人にこそ、最もよく現れるのであるから。」パウロはここで非常に弱くされ、力や才能を見せびらかすのではなく、喜んでイエス・キリストの証人となることを喜び、全てのことはイエス様のためであり、そのトゲさえも侮辱も、苦しみも、迫害も、困難も、大いに喜んでいきます。とまさに感謝の戦士の対応をしています。無力であればあるほど、それだけしっかりイエス様に寄りすがるからです。(たった一枚の薄っぺらい紙でも、もし頑丈な板にしっかりピタッと貼り付いているなら、破れることもなく強いように。)

宣教第2ステージと言われて、マレーシア、ザンビア、ヨーロッパ、フィリピン、ミャンマー、、、と徐々に宣教の門が開かれて行きますが、殆ど、イスラム圏であったり、仏教国であり、そこで神社やお寺で霊の戦いをして霊戦が繰り広げられています。その中で、私たちの信仰が問われ、内側が探られ、自分の弱さを嫌というほど教えられ、自分の功績や努力は虚しいものであり、今あるのはただただ神の恵みであることが教えられます。神様はそれを待っておられるのでしょ。自分がまだ何か出来るかあるかと思っている間は、神のみ手は完全に働くことができません。私たちがお邪魔をしているからです。

パウロは「私が弱いときにこそ、私は強い」と言っています。それは、この戦いは私たちの戦いではなく、「神の戦い」であり、神ご自身が全権を握って戦われるからです。

今から30年近く前、台湾宣教で出会った在留日本人の若いご婦人が、国際結婚の困難さを覚え、日本に帰ってしまおうと思っておられたそうです。その時、神様はその方に目を止められました。彼女は教会に導かれ救われ、今とても祝福されて台湾で熱心に伝道されています。彼女の高校の時の同級生が埼玉に住んでおられ、重病だということで教会で祈っていたのですが、イエス・キリストをご自分の救い主として受け入れられました。霊戦の中で非常に弱さを覚えている時、神様ご自身のご計画を進められています。更に主を見上げて神の力の現れを拝してゆきましょう。

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。

教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。